～共生社会（Diversity ＆ Inclusion）の実現に向けて～

「ともに歩む総合的な特別支援学校」をめざします

秦野支援学校の構成　～３つの教育部門・４つの教育の場～

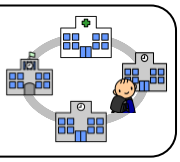
教育部門	教育課程	略称	小	中	高	教育の形態	教育の場	関係機関
病弱	準ずる	A課程	○	○		通学（入院、在宅）	落合校舎	神奈川病院
	重複障害	B課程	○	○		通学（入院）		
					○	訪問（入院）		
		Cかもめ	○	○		訪問（入院）かもめ学級	神奈川リハビリテーション病院	
知的障害		D弘済	○	○		訪問（施設入所）	(公財)鉄道弘済会総合福祉センター弘済学園	
		E高等部			○	通学	落合校舎	
		F末広	○	○		通学	末広校舎	秦野市立末広小学校
肢体不自由		G部門	○	○	○	通学、訪問	落合校舎	

秦野支援学校の強み

病院、施設、学校等との協働
多職種との連携
地域との共生

児童生徒の多様なニーズへの多角的なアプローチ

総合的な特別支援学校



【めざす学校像】

○多様な教育部門を持つ「ともに歩む総合的な特別支援学校」

・児童生徒が「毎日行きたい」と感じる学校
・保護者が子どもを「毎日登校させたい」と感じる学校
・地域や関係機関が「利用したい、応援したい、手をつなぎたい」と感じる学校
・教職員が学び合い、支え合い、働きがいを感じる学校

【めざす児童生徒像】

○めあてを持って、やりぬく子ども
○「よさ・強み・持ち味」を十分に発揮できる子ども
○自分を大切にし、他の人の幸せを願える子ども

【「自己実現」と「共生」に向けた指導・支援の視点】

○自立活動
・「基礎的な生きる力」を育む
　今持っている力を十分に発揮させているか。

○「伸びる・伸ばす」教育
・「豊かに生きる力」を育む
　伸ばしたい力に着目しているか。

○キャリア教育
・「生きる姿勢」を育む
　選ぶ機会や決める機会を設定し、自己選択や自己決定を促しているか。

○人権教育
・「お互いに認め合い、尊重し合い、支え合う心」を育む
　「いのち」を中心に据えた人権感覚を醸成しているか。

【「ともに歩む」ために】

教育指導（教育の専門性）への信頼

・地域を第２の教育の場とし、教育活動をとおして地域に貢献します。
・地域の特色や，学校の強みを活かした教育課程の編成、実践及び評価・改善のしくみを確立します。
・多様な背景やニーズがある児童生徒にしっかりと向き合い、指導・支援します。
・同年代とのかかわりを大切に、交流や共同の授業を進めます。

「ともに生きる社会」の実現に向けての信頼

・地域の学校との交流及び共同学習を進めます。
・積極的に学校を開くとともに、広報活動の充実を図ります。
・センター的機能により、地域での学びを支え、連携してインクルーシブ教育を推進します。
・地域のニーズに寄り添い、適切な進路選択を支援します。

安全・安心な学校づくりへの信頼

・教育活動の継続に向け、感染症対策を徹底していきます。
・保護者の皆様や地域・関係機関等の皆様の意見やニーズ等には真摯に耳を傾け、ともに考え、誠実に対応します。
・事故や不祥事の根絶に向けて、教職員が質の高い同僚性を発揮し、組織的な取組を継続します。